

獣医病理医が語る ～動物の死から分かること～

生き物は生きること、生き残ることだけを考えています。死のことは考えていません。その意に反して死を迎えた時、その体、細胞には死と戦った証拠が残されています。それを一つ一つ探して、病気とどう戦ったのか、どうして死に至ったかを明らかにするのが病理学です。

病気とどう戦ったのかを調べると、病気になった時、そして死んだ時にしか分からない、生き残るための精巧なシステムが垣間見えます。動物たちの死因やその過程を明らかにすることが、今生きている動物を生かすことに繋がるのです。カエル、サル、チーター、キリン、トラ、ゾウなどの死をみてきた獣医病理医としてのこれまでの経験を語ることで、生命の神秘に迫ります。

☆日 時：令和5年6月16日（金）19:00～20:30

☆場 所：久万高原町産業文化会館ホール
（久万高原町久万188番地）

☆参加費：100円

☆定員：70人

【講師：宇根有美さん】

岡山理科大学獣医学部教授。麻布獣医科大学卒。横浜市食肉衛生検査所に勤務後、麻布大学に奉職。2018年4月より岡山理科大学獣医学部に赴任。専門は獣医病理学。主に野生動物とエキゾチックアニマルの感染症を研究対象としている。2006年にアジアで初めて「カエル・ツボカビ病」を確認。



大型動物の解剖はこんな感じですか？

参加には申し込みが必要です。

フォームから申込可↓

※お問い合わせ・お申込みは面河山岳博物館（電話：0892-58-2130 FAX：0892-58-2136）

※お車の駐車は久万高原町役場および産業文化会館の駐車場をご利用ください。



参加申込票

以下に必要事項をご記入の上、博物館までFAXください。いただいた個人情報は適正に管理し、延期・中止など本事業に関するご連絡にのみ使用させていただきます。また、第三者に開示・提供することはありません。

参加者氏名	
住所	
電話番号	